

声をあげる力が命を守る

近年、家庭や学校で悩みを抱えながら、誰にも打ち明けられず苦しむ子どもが増えています。心の内に抱えた不安や恐れは、見えにくく、気づかれにくいものです。だからこそ今、「SOSの出し方」を学ぶ取り組みが各地で広がっています。

この学びの大切な柱は、「困ったときに声をあげる力」を育てること、そして「その声を受け止められる大人」を増やすことです。

学校では、助けを求める方法を話し合い、相談できる場所や人を知る機会を設けています。

同時に、「自分の命や心を大切に思う気持ち」や、「安心して話せる関係」を育むことも欠かせません。

小さな変化に気づくまなざし、そっと寄り添う姿勢が、子どもの未来を守ります。地域全体で支え合っている、一人でも多くの笑顔を守っていききたいものです。

今日の言葉 小さな声に気づく勇氣

子どもが安心して助けを求められる環境づくりは、今の社会にとって欠かせない課題です。

身近にいる大人に「困っている」と伝えられることは、心の負担を軽く、深刻な事態を防ぐ大きな力になります。そのためには、子どもが話しやすい雰囲気の日頃から整えておくことが大切です。

また、大人側も声をかけられたときに否定せず、最後まで耳を傾け、必要な手助けにつなげる姿勢が求められます。日常のあいさつや何気ない会話の積み重ねが、安心して頼れる関係を育てます。

自分の心や体を大切に思う気持ちは、周囲の温かな関わりの中で育まれます。小さな気づきと行動が、子どもの命と未来を守る力になるのです。

【今回の学び】⇒安心して会話のできる雰囲気づくりが大切！



声をあげる力が命を守る

近年、家庭や学校で悩みを抱えながら、誰にも打ち明けられず苦しむ子どもが増えています。心の内に抱えた不安や恐れは、見えにくく、気づかれにくいものです。だからこそ今、「SOSの出し方」を学ぶ取り組みが各地で広がっています。

この学びの大切な柱は、「困ったときに声をあげる力」を育てること、そして「その声を受け止められる大人」を増やすことです。

学校では、助けを求める方法を話し合い、相談できる場所や人を知る機会を設けています。

同時に、「自分の命や心を大切に思う気持ち」や、「安心して話せる関係」を育むことも欠かせません。

小さな変化に気づくまなざし、そつと寄り添う姿勢が、子どもの未来を守ります。地域全体で支え合いい、一人でも多くの笑顔を守っていききたいものです。

今日の言霊 小さな声に気づく勇氣

★問一（漢字・語句） 文中の「寄り添う」の意味として、最も適切なものを次から選びなさい。

ア 相手を厳しく指導すること

イ 相手の気持ちに近づき、思いやること

ウ 距離を保つて見守ること エ 一人で解決させること

★問二（選択） 本文によると、子どもが悩みを抱えても気づかれにくい理由として最も適切なものはどれか。

ア 子どもが悩みを軽く考えているから

イ 大人が忙しく関われないから

ウ 不安や恐れは目に見えにくいから

エ 学校で話し合いが行われていないから

★問三（選択） 「SOSの出し方」を学ぶ取り組みの大切な柱として、本文で述べられている内容はどれか。

ア 子どもが一人で問題を解決する力を育てること

イ 厳しい指導で心を鍛えること

ウ 声をあげる力と、それを受け止める大人を増やすこと

エ 家庭だけで悩みを解決すること

★問四（選択）「今日の言霊 小さな声に気づく勇氣」が伝えようとしていることとして、最も適切なものはどれか。

ア 大きな問題だけに目を向けること

イ 子どもの変化を見逃さない姿勢の大切さ

ウ 子どもに我慢を教えること

エ 学校の役割を減らすこと

★ 問五（記述） 本文を踏まえて、「声をあげる力」がなぜ子どもの命を守るにつながるのかを書きなさい。（四十字程度）

模範解答・解説

★問一(漢字・語句) 模範解答 イ

解説・解法 ↓ 「寄り添う」は、相手の立場や気持ちを理解し、そばで支える意味で使われている。厳しく指導したり距離を取る意味ではないため、イが正しい。

★問二(選択) 模範解答 ウ

解説・解法 ↓ 本文に「心の内に抱えた不安や恐れは、見えにくく、気づかれにくい」とある。そのまま内容と一致するウを選ぶ。

★問三(選択) 模範解答 ウ

解説・解法 ↓ 本文の中心部分で、「声をあげる力」を育てることと、「その声を受け止められる大人」を増やすことが大切な柱だと明確に述べられている。他の選択肢は本文と合わない。

★問四(選択) 模範解答 イ

解説・解法 ↓ 「小さな声に気づく勇氣」は、子どものわずかな変化や助けを求めるサインに気づくことの重要性を表している。本文後半の「小さな変化に気づくまなざし」と対応しているため、イが正しい。

★問五(記述・四十字程度) 模範解答(例)

困ったときに声をあげることで、大人や周囲が気づき、早く支えや助けにつながるから。

解説・解法 ↓ 「声をあげる力」「気づいてもらえる」「助けにつながる」この3点を入れると、本文の内容を的確にまとめられる。

理由を一文で簡潔に書くことが高得点のポイント。

子どもが安心して助けを求められる環境づくりは、今の社会にとって欠かせない課題です。

身近にいる大人に「困っている」と伝えられることは、心の負担を軽く、深刻な事態を防ぐ大きな力になります。そのためには、子どもが話しやすい雰囲気の日頃から整えておくことが大切です。

また、大人側も声をかけられたときに否定せず、最後まで耳を傾け、必要な手助けにつなげる姿勢が求められます。日常のあいさつや何気ない会話の積み重ねが、安心して頼れる関係を育てます。

自分の心や体を大切に思う気持ちは、周囲の温かな関わりの中で育まれます。小さな気づきと行動が、子どもの命と未来を守る力になるのです。

【今回の学び】⇒安心して会話のできる雰囲気づくりが大切！

